



2025 年 10 月号

在留資格って何ですか？

在留資格とは、外国人(日本国籍を持たない人)が一定期間にわたって日本国内に滞在し生活や活動をするために必要なもので、いわば合法的な滞在許可とも呼べるものです。入管法(正式名称:出入国管理及び難民認定法)によって定められている在留資格は、日本国内での身分や活動内容ごとに29種類あります。そして、それぞれの資格によって、日本に滞在できる期間や就労の可否、仕事の内容などが細かく決められています。よく耳にする「技能実習生」や「留学生」も、それぞれ「技能実習」「留学」という在留資格を持って滞在している方々です。

在留資格を取得するためには、日本に入国する前に手続きを完了させなければならないため、例えばパスポートひとつで入国してから仕事や学校を探す、といったことは原則出来ません。

なお、近年増え続けている海外からの一般的な旅行者は「短期滞在者」であり、日本で働くことは出来ません。

就労ビザって何ですか？

就労可能な在留資格(技能実習や特定技能など)のことを「就労ビザ」と呼ぶことがあります。ただし、これは俗称であり、本来の「ビザ(査証)」とは、外国への入国許可のことを指します。

大まかにいうと、ビザは入国許可、在留資格は滞在許可となります。

多文化共生社会の構築に向けて

近年、在留資格を取得し、日本国内に居住する外国人が増え続けています。その要因の一つとして、日本人の人口が減り続けていることが挙げられます。人材不足によって国内産業が維持出来なくなることも予想されていることから、国は、人材確保策の一つとして外国人材の計画的な獲得と活用を推進しています。

このような状況になっている今、普段の生活の中で外国人が増えていると感じることはあっても、彼らが何をしているのか、どんな仕事をしているのかまでは分かりにくいのではないのでしょうか。彼らが活躍している場は様々で、言語や技術など外国人ならではの能力を生かす方もいれば、私たちの日常生活を支える身近な仕事をする方々もたくさんいます。例えば私たちの食生活を支える野菜や魚といった生鮮食品も、手軽に食べられる加工食品も、実は多くの外国人がその生産現場で働いています。

日本国内で外国人が増えていることに対して否定的な意見もありますが、私たちの健全な生活の維持や経済発展のためには、外国人材にも頼らざるを得ない状況になっていることに目を向ける必要があります。そして、国籍や文化の異なる彼らと共に生活するためには、お互いを理解することが重要になります。日本で生活する外国人が増える中、地域における多文化共生のあり方は、今後、より大きな課題となってくることでしょう。

多文化共生のあり方を考えるべきなのは、もちろん日本人だけではなく、日本で生活する外国人も日本のルールを守り、生活習慣等を理解することが必要です。SAKURAでは、市内に居住する外国人の生活支援として、日本語や生活・交通のルール、防災、防犯などを学ぶ機会を設けたり、地域文化に触れるイベントを開催したりしています。また、市内の事業者向けには外国人雇用に関する相談やセミナー、企業間交流など、外国人材の活用に関する各種支援も行っております。

南相馬市における多文化共生社会の構築基盤となるのは、市民一人ひとりの意識です。国籍を問わず、より多くの市民の皆様に、多文化共生社会を身近なものとして考えていただけるよう、SAKURA は取り組みを続けてまいります。



10月19日(日)
多文化共生セミナー開催
～詳しくは次のページ～

姉妹都市相互派遣交流事業 南相馬市とペンダルトン市との交流

夏休み期間である7月から8月にかけて、両市の高校生をそれぞれ2週間にわたって相互派遣する交流事業を、今年も実施しました。

派遣中はお互いのホストファミリー宅に滞在しながら、文化・産業・教育等に関する各プログラムを体験しました。

言葉や気候が異なる中、互いの歴史や文化について学び、地域の人々との交流を通して得たものは、彼らの貴重な財産となり、両市の友好関係の更なる発展へと繋がっていくことでしょう。



ペンダルトン市からの派遣 7月16日～29日

梅雨明け直後の猛暑・酷暑が続いた約2週間、派遣生5名と引率者1名が南相馬市に滞在しました。今年の派遣生を率いたのは2015年に派遣生として来市した方で、10年の時を経て立派に活躍する姿に、深い感銘を受けました。

滞在中は体調管理を第一にしながら、多くの皆様のご協力によるアクティビティを楽しんでもらいました。博物館見学や甲冑試着、寺社参拝、箸作り、和太鼓演奏といった文化体験、震災遺構や福島ロボットテストフィールド見学といった復興及び産業学習、派遣生が楽しみにしていた市内3高校の生徒たちとの教育交流など…。そして、南相馬市での最後のプログラムは北泉海水浴場でのサーフィン体験とBBQ。真っ赤に日焼けしながらビーチでの1日を満喫し、帰国の途に就きました。初日からすべてのプログラムに熱心に向き合い、日本の文化や礼儀を尊重する姿が印象的でした。

そんな彼らの滞在を支えてくださったのは、ホストファミリーの皆さんです。言葉の壁はあっても、まるで家族のように、毎日を共に過ごしていただきました。お別れ会は感謝の言葉と涙で溢れ、皆さんが2週間で築いた強い繋がりを実感することとなりました。本当にありがとうございました。



派遣希望者必見！

派遣報告会 & 多文化共生セミナー開催

今年8月にペンダルトンへ派遣された高校生による報告会を開催します。加えて、地域の多文化共生について考えるセミナーも同時開催します。

次代を担う高校生が、姉妹都市交流を通じて何を体験し何を感じたのか、そして今後どう生かすのか？ また、日本国内で生活する外国人が増える中、言葉も習慣も異なる彼らと地域で共生するために必要なことは何か？

今後、派遣生への応募を考えている中高生の皆さん、ホストファミリーに興味のある方、地域の外国人との交流や共生が気になる方々にとって、気になる内容が盛りだくさんです。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

日時：10月19日(日)9:30～12:00
場所：南相馬市民情報交流センター

マルチメディアホール

※参加のご予約は

右のQRコード、または

電話、メールにて

SAKURA へお申し込みください



南相馬市からの派遣 8月6日～20日

新年度を迎えてすぐ募集を開始し、定員を大きく上回る応募者の中から6名の派遣生を決定しました。2回の事前研修で派遣生としての自覚を深めつつ、受入時の交流を通して異文化理解とコミュニケーション力の向上を図りました。初めての飛行機、初めての海外という生徒もいる中、緊張した米国の入国審査も無事に通過し、念願のペンダルトンへ。派遣生のうち5名は、7月にホストファミリーとしてゲストを受け入れ、交流を深めたうえでの派遣だったため、再会を喜び合い、早い段階から打ち解けることができました。

滞在中はペンダルトンの皆様の全面的なサポートにより、多種多様なプログラムが準備され、姉妹都市交流ならではの貴重な体験を重ねました。2週間の滞在でしたが、受け入れ時も含めると1ヶ月にわたる交流となったことから、家族ぐるみの絆が深まり、色とりどりの花に囲まれたお別れ会は、辛くも感動的な時間となりました。

学校も学年も異なる6名でしたが、お互いの個性を尊重し協力し合いながら団結を深めることができました。派遣を支えてくれた両市の皆様への感謝を忘れず、更なる成長と目標達成のために努力を続けてください。

日本語発表会 & 交流会 3月23日

市内で生活する外国人の皆さんによる日本語発表会を開催しました。5か国 14 名が、各自テーマを決め、日本語教室や事業所の皆さんによる指導を受けながら、作文・発表練習を重ねて臨みました。母国との文化や習慣の違い、日常生活で感じていること、南相馬での仕事についてなど、緊張しながらも懸命に発表し、会場から温かい拍手が贈られていました。観客として参加いただいた事業所の皆様は、普段とは違う様子で頑張る発表者の姿を、しっかりと見守ってくださいました。

発表会の後は交流会も開催しました。発表者以外の外国人の仲間たちも加わり、発表の感想を交わしたり、新たな友人を作って会話を楽しんだり、和やかな雰囲気でも盛り上がりました。国籍の異なる外国人の方々が日本語で会話をする様子は、微笑ましくもありつつ、それ以上に感動的でした。日本語を勉強することで、友人が増え、生活がより豊かになるといいですね。



花見 & 美化活動 4月6日

4月の第1日曜日、SAKURA から少し歩いたところにある高見公園で、お花見をしました。途中のゴミ拾いのため、40人近くの参加者は2つのルートに分かれ、公園で合流しました。事前予測では当日の満開を見込んでいましたが、直前1週間の寒波の影響で3分咲きとなった中でののお花見となりました。それでも蕾は色濃く、時折広がる青空の下で春の訪れを十分に感じることができました。写真を撮ってお喋りをしたり、サッカーやバレーボール、バドミントンなどで伸び伸びと体を動かしたり、心身のリフレッシュができました。ボランティアさんからいただいた苺も、キラキラしていて美味しかったですね。

後半は市議会議長さんも加わり、公園内にある花時計の説明をしてくださいました。ありがとうございました。



相馬野馬追本祭観覧 5月25日

地域の伝統行事である相馬野馬追の本祭りを見に行きました。姉妹都市への派遣生である高校生を含むボランティアの協力により、沿道からお行列を観覧した後、祭場地である雲雀ヶ原で甲冑競馬や神旗争奪戦を観戦しました。前日から降っていた雨も、本祭り開始までには止み、神事であるが故のパワーを感じることができました。

さすがに足元は悪く、気温も上がらなかったため、少し我慢しながらの観覧となりましたが、騎馬武者たちの迫力や、屋台の賑わいなど、お祭りの雰囲気を楽しんでもらえた様子でした。お行列に参加していた SAKURA 会員の外国人の皆さんも、お疲れさまでした。



SAKURAまつり 6月29日

令和3年6月の設立以来、毎年6月に SAKURA の周年記念行事として SAKURA まつりを開催しています。

4周年を迎えた今年は、外国人 26 名を含む 38 名が参加しました。まずはお好みの具材を使ったミニパフェを作って食べました。梅雨とはいえ真夏のような暑さの中、たっぷりのアイスクリームや冷えたフルーツ、真っ白なクリームにカラフルなお菓子や赤いサクランボをトッピング。写真を撮って、美味しく頂きました。その後はチーム対抗でのゲームで盛り上がりました。小豆運び、お菓子つかみ、伝言ゲーム、ジェスチャーゲームと、言葉や年齢に関わらず楽しんでもらえました。伝言ゲームではお笑い芸人のフレーズや方言など、聞いたことがないと思われるような日本語も出題しました。意味が分からなくても、思いのほか忠実に伝言できていましたね。方言、是非使ってみてください。

お子様連れの方や高校生など、若い皆さんもボランティアとして参加いただきました。地域の多文化共生社会構築のため、今後もより多くの方々の参加をお待ちしています。

～SAKURA 日本語教室に関するお知らせ～

にほんご べんきょう

SAKURA で日本語を勉強しよう

SAKURA では、市内の外国人等向けに日本語教室を開催しています。会話などの練習のほか、JLPT 受験のための勉強もできます。南相馬市に住んでいる方または南相馬市で働いている方であれば、受講料は無料です。

にほんご べんきょう ひと う ひと れんらく
日本語を勉強したい人・JLPTを受ける人は、SAKURAに連絡します。

JLPT 受験者の送迎サポートについて

SAKURA では、JLPT 試験当日に南相馬市から会場（郡山市や福島市）までの送迎車を運行しています。利用するためには次の条件があります。

【送迎車の利用条件】

- ・南相馬市に住んでいる又は南相馬市で働いている
- ・JLPT の受験申込をする
- ・SAKURA 日本語教室の受講申込をする
- ・申込から 11 月 30 日までの間、SAKURA 日本語教室に 8 回以上出席する

別途、送迎希望の申込が必要です。
詳しくは SAKURA へお問い合わせください。

2025 年 12 月の
JLPT 受験申込は
終了しています。

次の試験は
2026 年 7 月です。

ボランティア 募集中

SAKURA 日本語教室
は、高校生からベテランの
方まで、たくさんのボラン
ティアの皆様のご協力に
よって運営されています。
経験や資格は不問で
す。日本語による外国人と
の交流に興味のある方
は、SAKURA へお問い合
わせください。

日本語教室／サロンイベント予定表 ～2025 年度後期～

予定は変更する場合がありますので最新の情報は SAKURA ホームページ等で確認をお願いします

10月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

19日 姉妹都市派遣報告会 &
多文化共生セミナー

26日 ハロウィンイベント

11月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

12月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

7日 JLPT 試験日

21日 クリスマスイベント

1月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

25日 新年会

2月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28

15日 防災&交通安全講習会

3月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

15日 日本語発表会&交流会

【日本語教室】

10:00～12:00

10:00～12:00／12:30～14:30

18:00～20:00

JLPT試験日

日曜日 通常コース

日曜日 通常・JLPT対策コース

水曜日 JLPT対策コース

※JLPT: 日本語能力試験 (Japanese-Language Proficiency Test)